

メーデー・アピール

働くものの英知と連帯で、大震災を乗り越えよう

働く仲間の皆さん、

社民党は第82回メーデーにあたって、連帯と激励のメッセージを送ります。

3月11日に起きた東日本大震災・大津波、さらに東京電力福島第一原子力発電所事故と放射能汚染により深刻な事態が生じています。被災地域へのさまざまな支援も取り組まれてきましたが、なおも厳しい状態が続いています。

今年のメーデーは被災者支援の取り組みが大きな課題です。

脱原発社会への転換

社民党は「いのちを大切にす政治」を実現するために努力をしてきました。また一貫して原発の危険性を指摘し、「脱原発社会」へ転換させるために活動してきました。福島第一原発の対策に多くの人が携わっていますが、事故から1カ月以上経っても収束の道筋が見えません。関係者のなれあいでは進められてきた原子力政策と放射能汚染のリスクに対して、多くの国民は疑念と怒りを覚えています。これまでの価値観を問い直し、安心して働き続けられることの大切さを再認識し、政治・行政・経済・社会のありようを変えて行こうではありませんか。

社民党は、雇用・福祉・くらし・農林水産業などを地域から立て直し、脱原発社会への転換を図ろうと訴えます。

復旧・復興で雇用拡大

被災地の復興なくして今後の繁栄はありません。これまで輸出企業を中心に、労働法制の規制緩和に乗じて非正規労働者に依拠したコスト削減で200兆円超を溜め込んでいます。この内部留保を被災地復興に吐き出し、同時に正規雇用促進に使うべきです。さらに、企業・団体献金は禁止し、その分を復興に提供すべきです。被災地の復旧・復興とそこに暮らす人々の雇用拡大に提供すべきです。

共に力をあわせよう

社民党は、事業の継続が困難となった災害救助法指定地域の中小・小規模企業への災害融資に関する特別措置と貸付け業務を円滑に実施し、雇用を守ります。就職予定の方にも

特例的雇用保険の失業手当を適用することで救済を図ります。

働くものの英知と連帯の力で東日本大震災を乗り越え、希望が持てる社会を実現するために共に頑張りましょうではありませんか。

第82回メーデー万歳